

3.11メモリアルアクションの成功を!

きらきら発電・市民共同発電所と脱原発仙台市民会議が呼びかけ団体となり、脱原発を願う県内の24団体238名が賛同者に加わり、「3.11メモリアルアクション」を企画しました。

行動は、「2016年3月11日(金)20時~21時、明かりを消して(可能ならブレーカーをおとして)キャンドルを囲んで3.11を振り

返り、福島避難されている方々に思いをはせ、私たちの生活とエネルギーについて語り合う」という内容です。各家庭で自主的・自発的に取り組めるものです。ご存じのように、原発は夜間のベースロード的電源の象徴です。このアクションを通じて、私たちの思いを電力会社に伝える意味もあります。よく言われることですが、一人一人は微力ですが無力ではありません。

3月11日20時から21時の年ごとの東北電力の発電量の推移を見ると、2011年に落ち込んだ消費電力が年々回復し、昨年は震災前を上回ってしまいました。このままでは、「原発必要論」の根拠にすらされかねません。このアクションは、夜間の電力消費量を少しでも減らすことで意思表示をすると同時に、私たちのエネルギー消費の在り方について考える機会でもあります。取り組みの輪を広めるため、多くの人に声をかけましょう。(理事長 水戸部秀利)



2016年は風力発電導入を計画

きらきら発電理事会は2016年度の事業の検討を開始しています。まず優先させたい事業が小風力発電の導入です。小風力発電は20kw未満の風力発電で、フィット価格が55円(2015年度)。しかも宮城県の補助金が5割と、高い補助率です。宮城野区・若林区の海岸(仙台新港周辺)は平均5.8m/sの風が吹いており、5m/s以上という立地条件をクリアしています。

費用は1kw単価で100万円から120万円かかります。よって2,000万円から2,400万円の元手が必要ですが、既に413万円の基金が手元に集まっています。しかも県に補助金を申請するので、残り600万円から1000万円の協力が得られれば、事業化できます。東北でフィット対応の小型風力発電を初めて設置した業者と既に連絡を取っています。



七郷の風力

太陽光発電,順調に稼働

当初予算の123%の働き

井土浜1号機・柳生2号機の両太陽光発電所が予想以上の発電を継続しています。10月から2月までの5カ月間予算では37,425kw1,293,408円を計上していましたが、実際の稼働が46,164kw1,594,823円。予算の123%の稼働率です。3月以降太陽光がフル稼働する時期には、ピークカットされる時間が発生し、これほど予算を上回ることはなくなりますが、おかげで初年度から、決算が赤字にならずに済みそうです。

NPOきらきら発電・市民共同発電所

〒981-3215 仙台市泉区北中山3-17-12

広幡方 電話・FAX 022-379-3777

メール=kirakirahatuden@outlook.jp

<http://kirakirahatuden.com/>

ゆうちょ振替口座 02270-9-138855

News 第14号

2016年3月

電力小売り自由化の学習会に58名参加

電力購入選択権は原発再稼働反対の手段に

きらきら発電は2月6日電力小売り自由化の学習会を実施し、58名が参加。「エネシフみやぎ」の代表浦井彰さんの講義に耳を傾けました。以下講義内容の一部です。

「電力小売り自由化の準備のため、2015年広域系統運営機関が設置された。これは9電力間で電力の融通をしやすくすることが目的で、東日本では北海道・東北・東京・北陸・中部の五社が広域連係を強化した。これで互いに送電しあえる条件を整えた。そして2016年電力小売りの自由化が実施される。なお真の小売り自由化を保証する発送電分離は、2020年の実施となっている。

今回2016年4月は低圧電力、すなわち家庭向けの電力の小売り自由化である。2月1日現在148社が登録。実は同時にガスの小売りも自由化となるので、ガス会社が電力業界に参入するケースが目立っている。

電力小売り自由化については『クリーンなエネルギーを購入したい』と歓迎する人が13,8%も存在。『公平性と透明性』という点で、情報開示がとても重要になる。

『電力小売り自由化』により購入先の選択枝を市民が持つことになるので、原発再稼働推進の会社から違う会社に変更できる。抵抗する手段を持ったと言える。」



電力小売自由化学習会6月5日再開

今回人気のあった学習会。6月5日午前再度開催することになりました。講師も同じ「エネシフみやぎ」代表の浦井彰さん。更に詳しい小売り自由化の情報と、自由化先進圏欧州の最近の様子を解説してもらいます。是非ご参加ください。

エネシフみやぎ主催シンポジウム

自然エネルギーで地域社会を変える

基調講演＝飯田哲也氏(環境エネルギー政策研究所所長)

特別講演＝佐藤彌右衛門氏(全国ご当地エネルギー協会)

宮城県政策紹介＝宮城県再生可能エネルギー室

4月2日(土)13時開演:会場=東北大学さくらホール(片平)

参加費 1,000 円、交流会参加者は 2,000 円

きらきら発電では会員・準会員の方々の参加費を法人で負担する予定です。参加希望者は電話・FAX・メールで事務局に3月25日までに連絡をお願いします。

パネルディスカッション参加団体

NPOきらきら発電(仙台市)

ひっぽ電力(丸森町)

NPO川崎町の資源を生かす会(川崎町)

NPOSTELA(石巻市)

生活協同組合あいコープみやぎ(宮城県)

飯館電力株式会社(福島県飯館村)